



## News Release

令和3年3月19日

N I T E (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

法人番号 9011005001123

# エシカルなアパレル製品の認証に向けて NITE は国内初の認証機関を認定しました

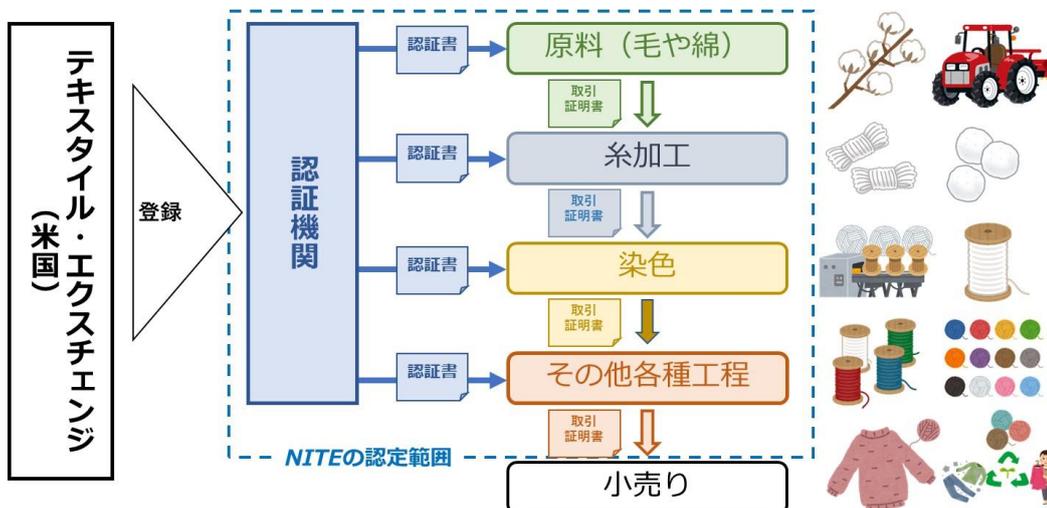
NITE (ナイト) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長: 辰巳 敬、本所: 東京都渋谷区西原] は、本日、一般財団法人ケケン試験認証センター (略称ケケン) [理事長: 本所 寛、所在地: 東京都文京区湯島、法人番号: 3010005016616] をテキスタイル・エクスチェンジ<sup>※1</sup> 認証 (以下、「TE 認証」) を行なうことができる認証機関として、国内で初めて認定しました。

TE 認証は、動物福祉に配慮したウールやダウン (羽毛) を使用した製品、地球環境に優しいオーガニックコットンやリサイクル繊維など、エシカル<sup>※2</sup> なアパレル製品を対象として認証を行い、持続可能な社会実現のために好ましい繊維製品を提供する国際的な制度です。アパレル産業は、TE 認証を活用することで、動物福祉や地球環境などに配慮したエシカルな製品を提供していることや、SDGs (持続可能な開発目標) 達成へ貢献していることを、消費者に対して、わかりやすくアピールすることができます。

1. NITE は、米国 NPO (非営利団体) のテキスタイル・エクスチェンジ (Textile Exchange・略称 TE) が運営する国際的な認証制度の認定機関として 2020 年 7 月 28 日に登録され、このたび、一般財団法人ケケン試験認証センター (略称ケケン) を、動物福祉や人権、環境保全などに配慮しているなどエシカルな製品を認証する機関として、国内で初めて認定しました。
2. 世界的な消費者の購買行動の潮流として、残酷な毛の刈取り方法が行なわれていないウール製品、児童労働や労働力搾取なしに作られているアパレル製品、オーガニック製品やリサイクル繊維製品を選択するという、エシカル面に配慮した製品の購入などが進んでいます。この潮流に伴って、製品を提供する企業も、自社製品がエシカルな消費に適した製品であることを消費者にアピールするための対応が進んでいます。特に国際流通が顕著なアパレル産業では、エシカルな消費に適した製品であることの証明に TE 認証を活用する積極的な動きが見られます。
3. NITE は、こうした社会的に関心の高い課題への取り組みを支援すべく、令和 2 年 7 月から TE 認証制度に欠く事のできない認定サービスを開始し、この度、ケケンを国内ではじめて認定しました。今後、アパレル関連企業は、ケケンから TE 認証を取得することで、自社製品がエシカルな消費に適した製品であることを、TE 認証製品と認められることで容易に証明でき、消費者に対して自社製品の社会的な課題への貢献を訴求することができるようになります。これは、アパレル業界における競争力確保に留まらず、SDGs 達成への貢献などへのアピールにもつながります。



お問い合わせ先  
 独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター所長 岸本 勇夫  
 担当者 稲葉、橋本、大西  
 メールアドレス : asnite-p@nite.go.jp



【1】 認定のイメージ・・・サプライチェーン全体の信頼性確保が可能になる



【2】 認証製品を識別するためのマーク (リサイクル繊維の場合の例)

※1 テキスタイル・エクステンジ (TE)

2002年に“Organic Exchange”として活動を開始したアメリカ・テキサス州に本部を置くNPO/NGO法人。25以上の国から260以上の企業や団体が加盟。

TEは、ブランド、小売業者、工場、原料供給者、農家などの利害関係者を一同に集め、サステナブル繊維の社会的かつ環境的な利点を学ぶことで、サステナブルな素材がより浸透することを目的に新しいビジネスモデルやツールを開拓。主な活動内容は、①利害関係者の情報交換の場を提供、②グローバルなデータの収集と提供、③国際認証基準の策定と運用の3点。

2021年2月時点で、欧米アジアで6機関が認定機関に、欧米・アジア・南米で22機関が認証機関に登録されており(日本の認証機関は登録されていない)、これまでに延べ15,890の企業が認証を取得している(このうち日本企業は延べ89)。

ファストファッションブランドのZARA、H&M、UNIQLO、GU、GAPなどの主要企業がメンバーとなっているほか、ハイブランドのLouis Vuitton、Dior、Fendiなどが属するLVMHやBurberryやGucci (Kering)などもメンバーであり、アパレル関係者から注目されている。

外部リンク：テキスタイル・エクステンジ メンバー一覧

<https://textileexchange.org/members/>

※2 エシカル(な消費)

消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援したりしながら消費活動を行うこと。

外部リンク：倫理的消費(エシカル消費)とは？[消費者庁のページ]

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_education/public\\_awareness/ethical/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/)